

AfterFiver[汎用版]の地域版作成方法

2017/1/15

概要：

AfterFiver[汎用版]は、[「ISWC2016@KOBEL連携ハッカソンーオープンデータ×NHKワールドで「インバウンド向けLODアプリ」を開発しよう！」](#)を通して開発された、インバウンドアプリ「[AfterFiver](#)」を他地域版を開発しやすい基盤として整備したものです。

他地域版開発のサンプル（大阪版）

<http://lodosaka.jp/AfterFiverOsaka/>

他地域版の開発手順

必要な環境・作業

1. Webサーバ（HTMLとJavaScriptで動作します）
2. 下記のGoogleのサービスを利用するためのAPIキー
 - Google Maps Geocoding API
 - GoogleMaps JavaScript API
3. SPARQLエンドポイントを公開するためのRDFデータベース

開発の手順

ツールの設定

1. GitHubのレポジトリ
<https://github.com/lodinitiative/afterfiver/tree/AfterFiverOsaka>
からソース一式をCloneまたはダウンロードする
2. **fiver.js**(62行目～)の「XXXXXXXXXX」を用意したGoogleサービスのAPIキーに書き換える
googleApiKey: {
 serverId: 'XXXXXXXXXX',
 engineId: '*****'
},

3. **Index.html**および**index_ja.html**の最後から10行目あたりの「**X X X X X X X**」を用意したGoogleサービスのAPIキーに書き換える

```
<script src="X X X X X X X"></script>
```
4. **fiver.js**の76行目にあるGoogleMapのデフォルトのセンター位置を任意の地点の緯度経度情報に書き換える.

```
center: new google.maps.LatLng(34.702485,135.495951),
```
5. **fiver.js**の39行目~にある, 出発・到着地点としてリストに出す地名と緯度経度情報を編集する

```
listForDefaultSpot: [
  {address: "Osaka Station",   latlng: '34.702485,135.495951'},
  {address: "Kansai International Airport",latlng: '34.427222,135.243889'},
  {address: "Osaka International Airport(Itami Airport)", latlng: '34.791486,135.440457'},
],
```
6. **Index.html**および**index_ja.html**の200行目ふきんにある**SPARQL**エンドポイントのURLを用意したものに変更する

```
<form method="get" action="http://lod.hozo.jp/repositories/AfterFiverOsaka#query/d/"
target="result" id="spot-lod-api" style="display:none" >
```

データの準備

1. **AFDataOsaka20170115.csv**を参考に, 観光スポットのデータを用意する.
2. **CSV2LOD** (<http://lodosaka.jp/tool/CSV2LOD/>) を用いて, 1のデータをRDFファイルに変換する
 - a. ツールの使い方は
<http://www.slideshare.net/KoujiKozaki/lod-in-65240942>
 を参照
 - b. 変換用のテンプレートは「**AFdataTemplate_20170115.txt**」を利用する
3. 生成したRDFファイル (Turtle形式) を用意したRDFデータベースに格納し, SPARQLエンドポイントを公開する